

PCA-ACUP の操作手順例

はじめに

本手順は PCA-ACUP を使用して再生機器からパソコンにサウンドを取り込み MP3 ファイル形式で分割保存するまでの操作手順の例を記載しております。

DigiOnSound5 L.E.のその他機能に関しましては、まず DigiOnSound5 L.E.を起動しメニューバーの[ヘルプ]->[目次]よりオンラインマニュアルがございますのでそちらをご覧くださいませうお願いします。
(サポートサービスのご案内に関しましても記載しております。)

目次

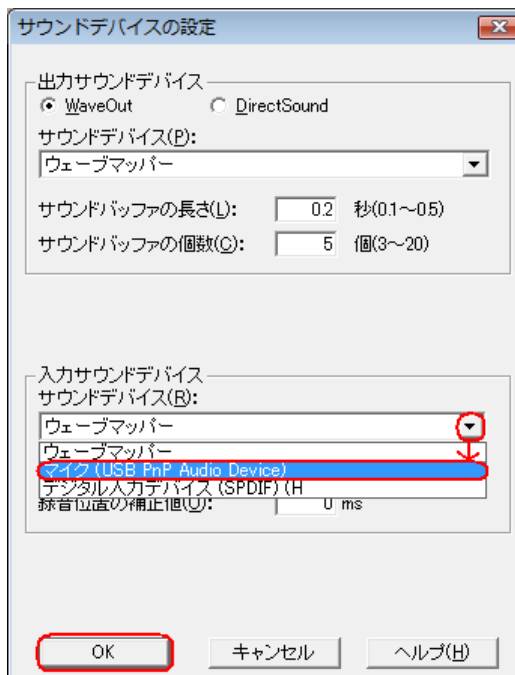
	ページ
はじめに	1
I. デバイスの設定	2
II. 環境設定	3
III. 録音レベルの調整	4
III-1. XP の場合	4
III-2. Vista の場合	5
III-3. 録音レベルの注意点	6
IV. 録音を行う	7
V. サウンド分割でキューポイントを設定する	8
VI. 手動でキューポイントを設定する	9
VII. ノーマライズ(音量調整)を行う	10
VIII. MP3 形式で分割保存する	11

I. デバイスの設定 入力サウンドデバイスを PCA-ACUP に設定する。

① ツールバーの[ファイル]→[サウンドデバイスの設定]を選択します。



② 「サウンドデバイスの設定」ウィンドウが開きますので入力サウンドデバイスを【マイク(USB PnP Audio Device)】に変更して[OK]ボタンをクリックしてください。



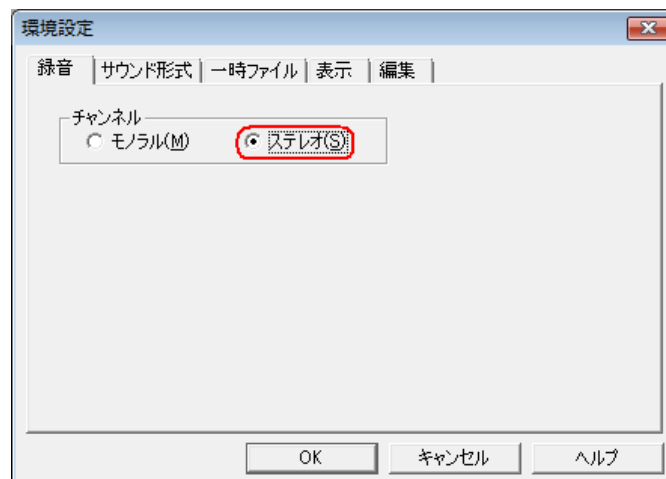
Ⅱ. 環境設定

録音チャンネルをステレオに設定する。

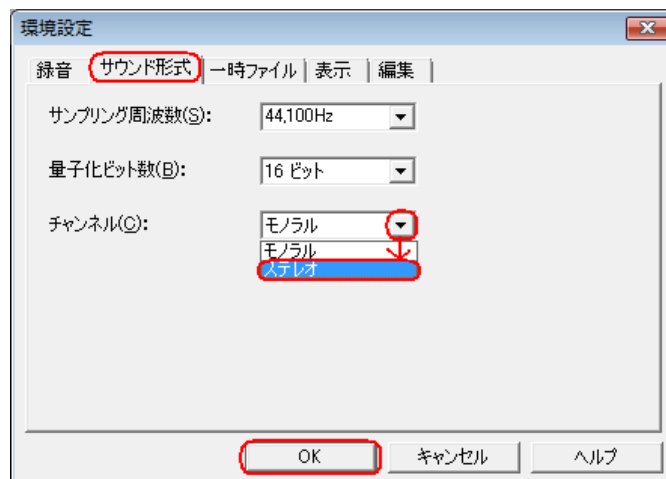
① ツールバーの[ファイル]→[環境設定]を選択します。



② 「環境設定」ウィンドウが開きますので[録音]タブのチャンネルを【ステレオ】に設定してください。



③ 次に、[サウンド形式]タブへ移動しチャンネルを【ステレオ】に設定して[OK]ボタンをクリックしてください。

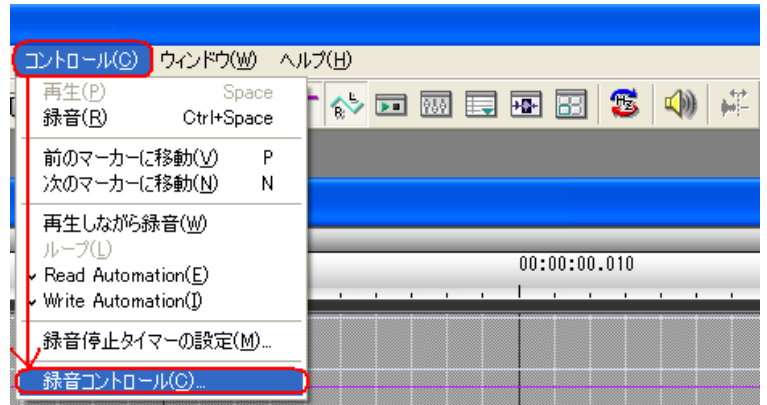


Ⅲ. 録音レベルの調整

PCA-ACUP の録音音量を設定する。

Ⅲ-1. XP の場合

①「DigiOnSound5 L.E.」のツールバーにある「コントロール」->「録音コントロール」を選択してください。



②WindowsXP のミキサーデバイス画面(Wave In のウィンドウ)が表示されますの上下のスライダーで録音レベルを調整してください。

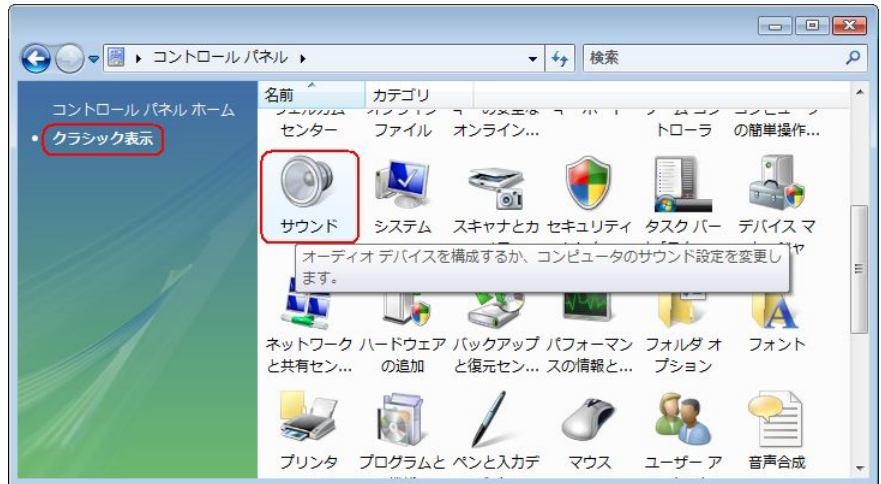
録音レベルは最大レベルの 10-25%程度にすることをお勧めします。録音した音が小さい場合は、再生する機器の音量を大きくして録音した後に「ノーマライズ」を行ってください。



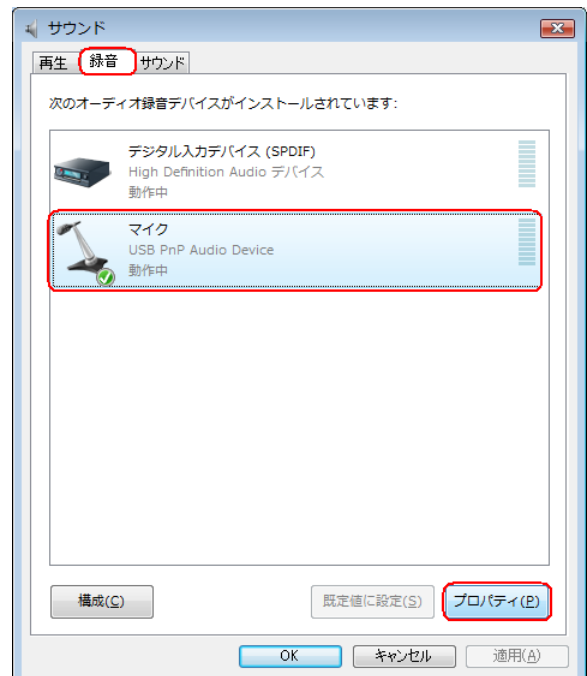
Ⅲ-2. Vista の場合

Vista では「DigiOnSound5 L.E.」のツールバーにある「コントロール」→「録音コントロール」が選択できなくなっております。音量レベルの調整は、以下の手順で操作を行ってください。

①コントロールパネル(クラシック表示)のサウンドをダブルクリックしてください。

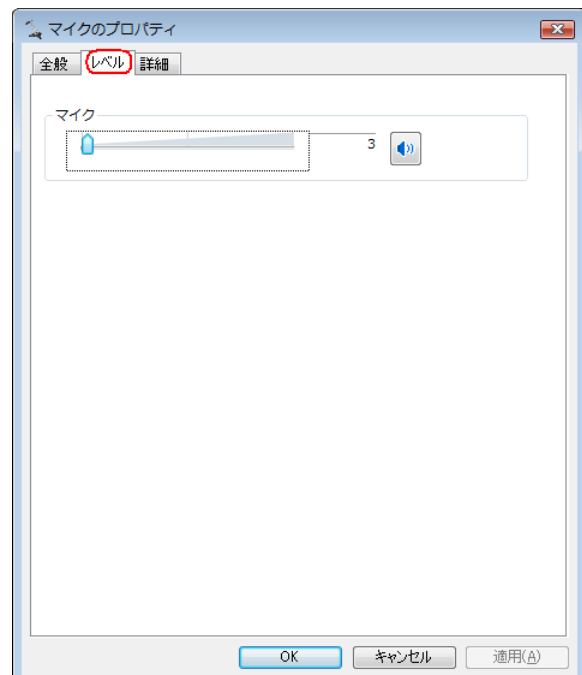


②「サウンド」ウィンドウが開きますので[録音]タブに移動して【マイク USB PnP Audio Device】を選択して[プロパティ]ボタンをクリックしてください。



③「マイクのプロパティ」ウィンドウが表示されますので[レベル]タブに移動してスライダーで録音レベルを変更してください。

録音レベルは最大レベルの 10-25%程度にすることを勧めます。録音した音が小さい場合は、再生する機器の音量を大きくして録音した後に「ノーマライズ」を行ってください。



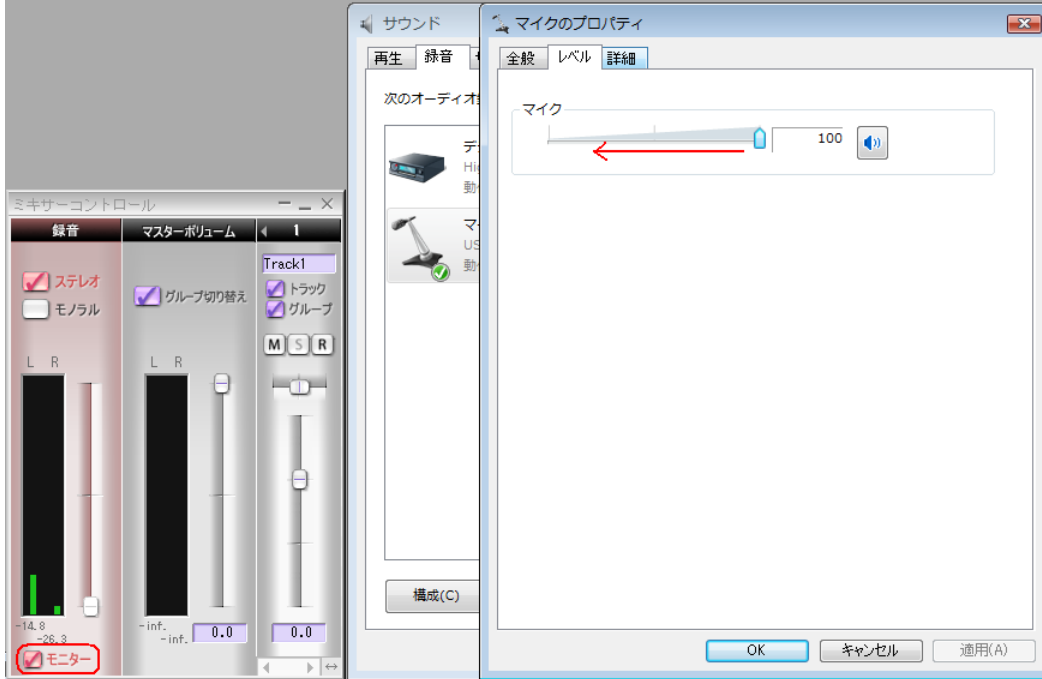
Ⅲ-3. 録音レベルの注意点

マイクの録音レベルが高すぎる場合、再生機器が停止している状態(音声入力の無い状態)でも基板のノイズを音として拾ってしまいます。

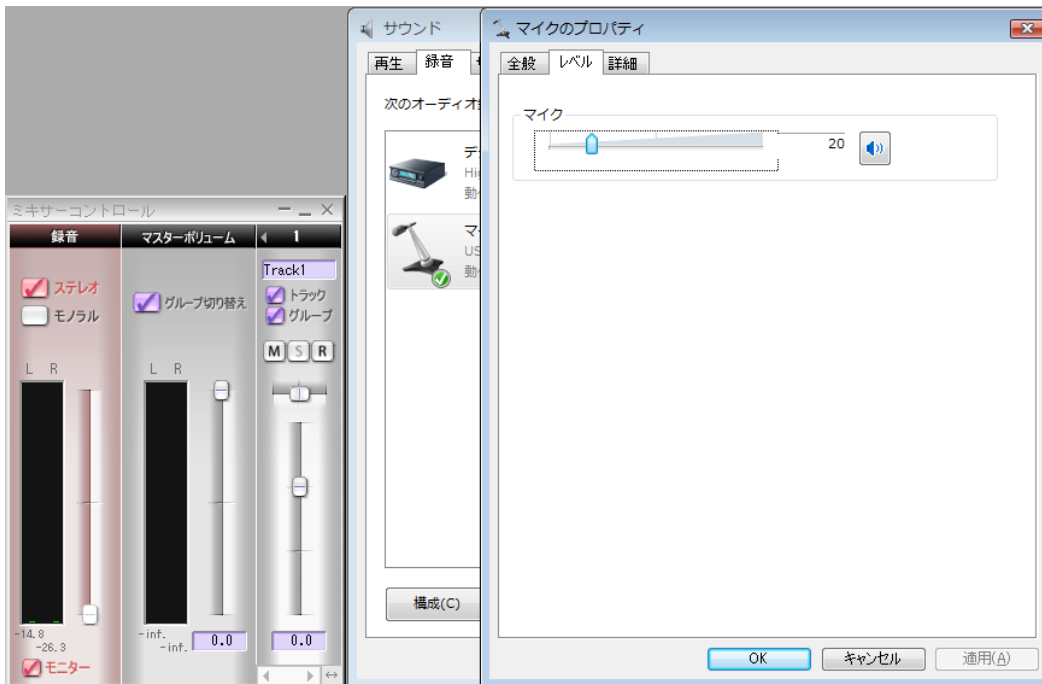
このような状態で録音してしまうと、無音区間が無くなってしまふ為[サウンド分割]の[無音部分で分割]で分割ができなくなります。

以下の手順で録音レベルを調整してください。

- ①再生機器を停止または一時停止している状態にしてから PCA-ACUP に接続してください。
- ②DigiOn Sound5 L.E.の[ミキサーコントロール]の【モニター】にチェックを入れてください。
- ③[ミキサーコントロール]の緑色音量のバーが目立たない程度まで録音レベルを下げてください。



録音に適したマイクレベルの例



IV. 録音を行う

再生機器からパソコンにサウンドを取り込む

①[ファイル]->[新規作成]を選択してください。



②次に、『コントローラ』ウィンドウの録音ボタンを押して録音準備状態にします。

*『コントローラ』ウィンドウを閉じている場合は、ツールバーの[表示]->[コントローラ]を選択することでコントローラウィンドウを再度表示できます。



③再生ボタンを押すと録音が始まります。



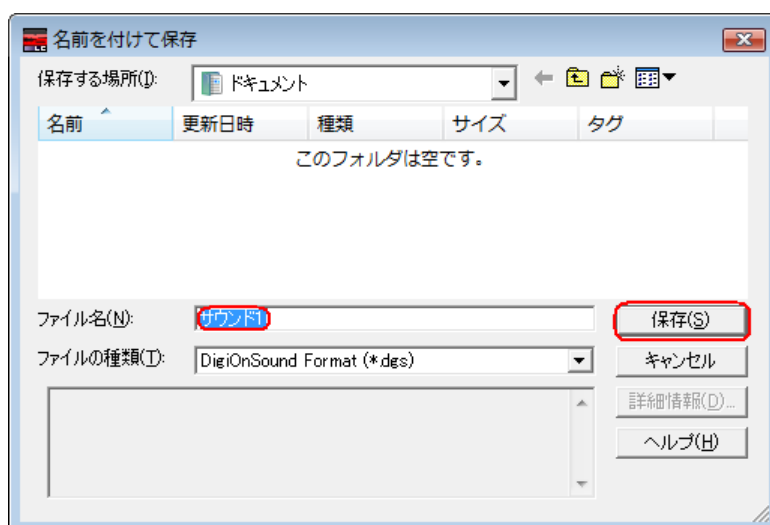
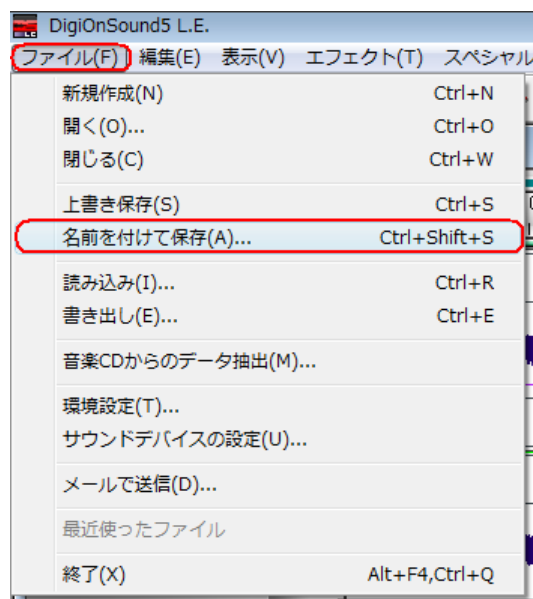
④録音を終了する時は停止ボタンを押してください。



録音が終わったら編集を行う前に保存することをお勧めします。

保存の手順は、[ファイル]->[名前をつけて保存]を選択してください。

保存する場所とファイル名を設定して[保存]ボタンを押してください。



V. サウンド分割でキューポイントを設定する

無音部分を検出して分割ポイントにする

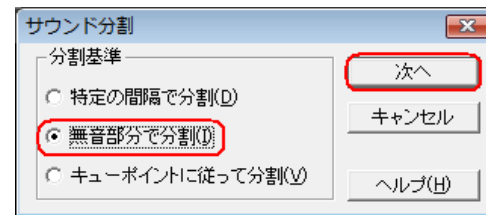
複数の音楽を連続で録音した場合などに使用する機能です。

ここでは、実際のファイル分割ではなく分割する箇所にキューを挿入します。

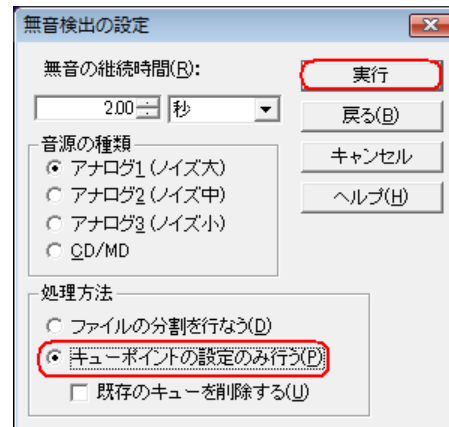
①[ツール]->[サウンド分割]を選択してください。



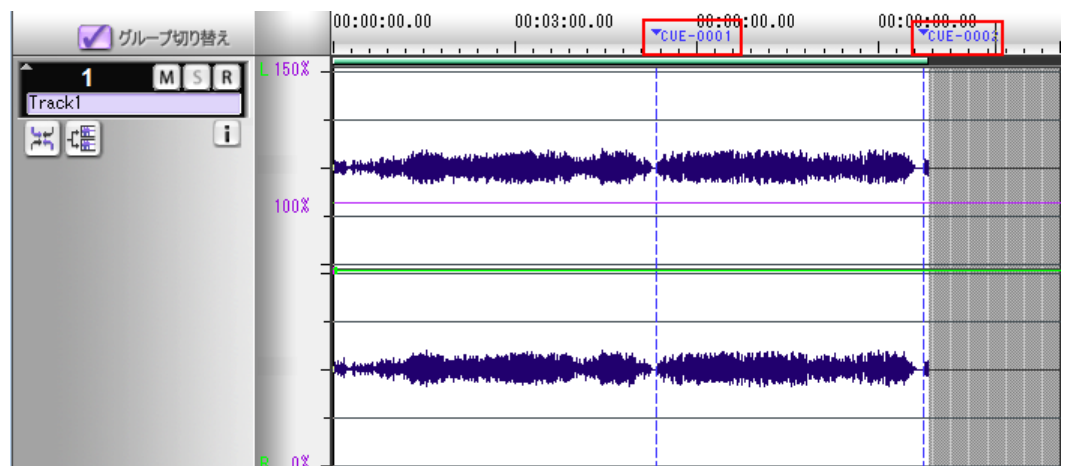
②「サウンド分割」ウィンドウが表示されます。
【無音部分で分類】にチェックを入れ[次へ]ボタンをクリックしてください。



③「無音検出の設定」ウィンドウが表示されます。
ここで処理方法を【キューポイントの設定のみ行う】にチェックを入れて[実行]ボタンをクリックしてください。



④処理が完了しますと、検出した箇所にCUE-000xとキューポイントが挿入されます。



曲と曲の間にうまくキューポイントが挿入されない場合

- ・録音レベルを下げてみる
- ・手動でキューポイントを設定する
- ・無音の継続時間を 2.00 秒から少し短めに設定してみる

->録音レベルの調整 のページを参照のこと

->手動でキューポイントを設定する のページを参照のこと

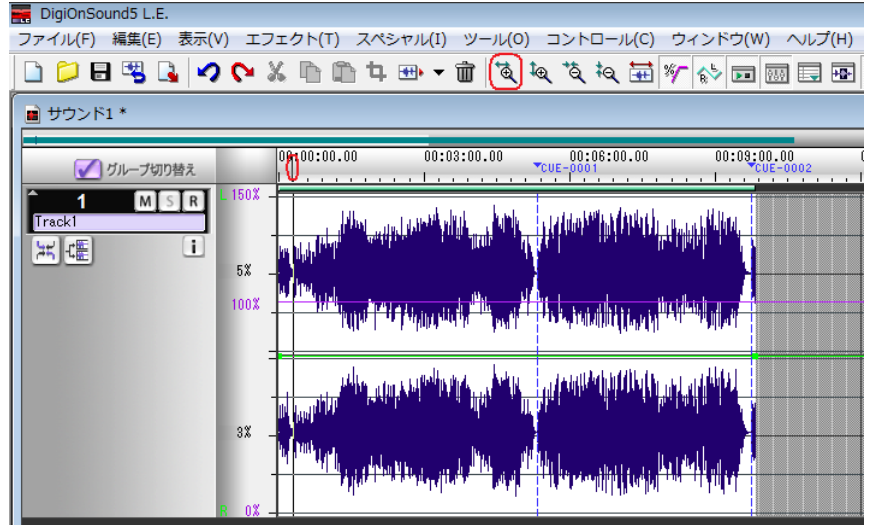
->本ページの手順③の画面にある無音継続時間を変更してください

VI. 手動でキューポイントを設定する

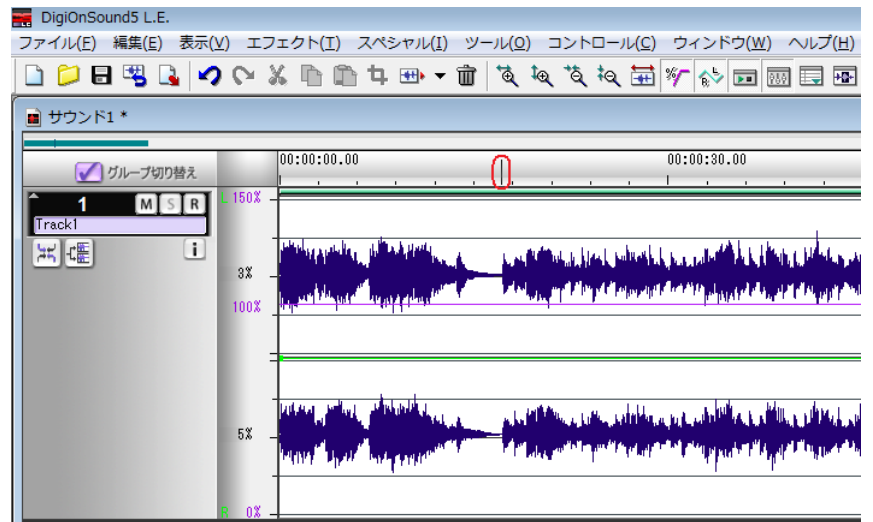
分割ポイントを手動で設定する

ここでは、波形を確認して手動でキューを挿入する手順を紹介しています。
サウンド分割のキューポイント挿入がうまく行かなかった箇所に設定してください。

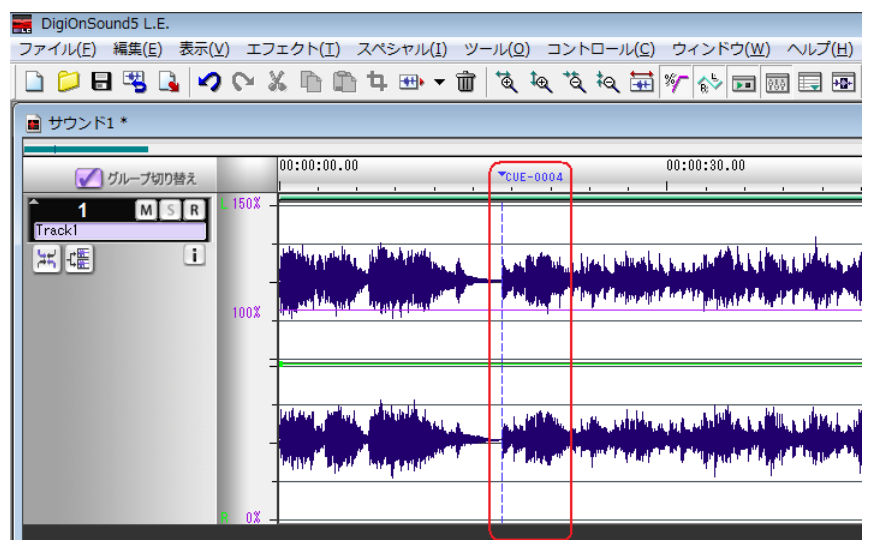
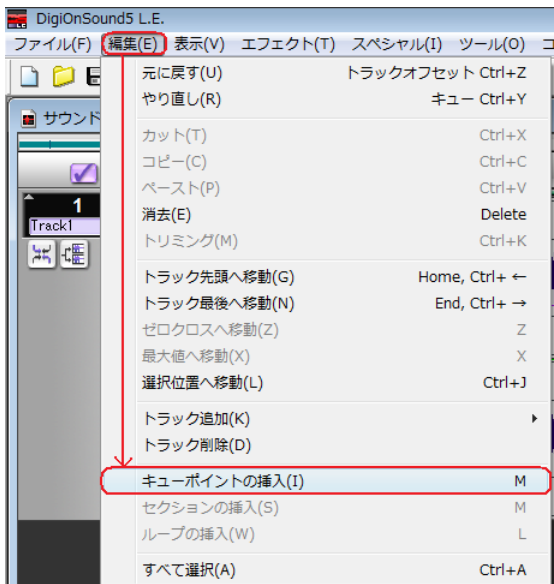
①キューポイントに設定したい箇所のタイムバー付近をクリックします。
ズームボタンを何度か押してクリックした付近を拡大します。



②拡大した後、キューポイントに設定したい箇所のタイムバー付近をクリックしてください。



③[編集]->[キューポイントの挿入]を選択してください。
上記でクリックした箇所が新しいキューポイントになります。
(キューポイントはドラッグすることで左右に移動できます。)



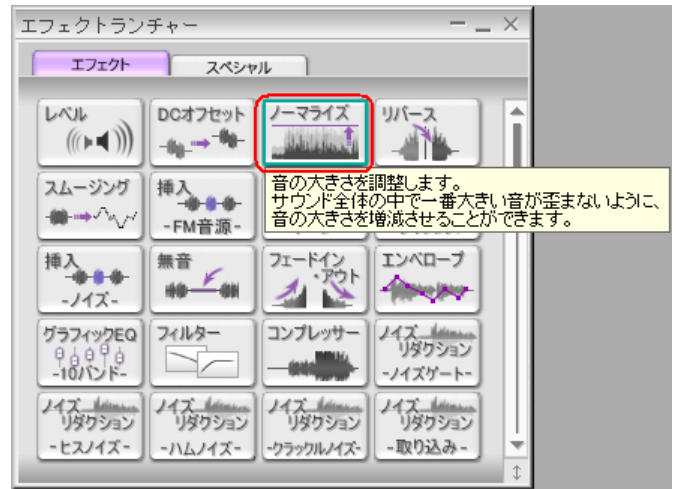
VII. ノーマライズ(音量調整)を行う

一番大きな音が歪まないように音量を調整する

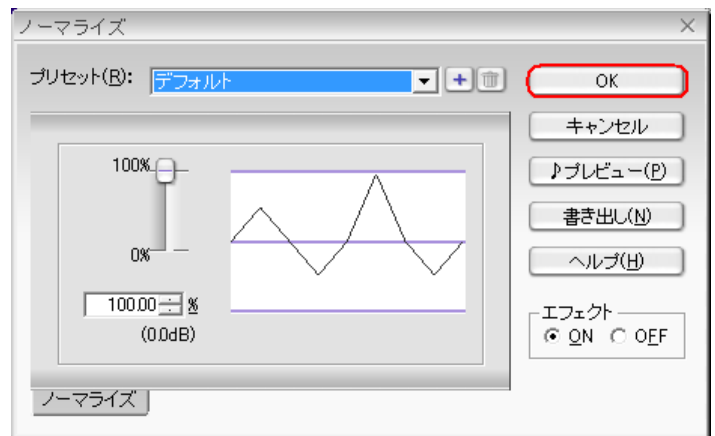
録音した音楽の音量の調整を行います。

サウンド分割を利用する場合は、先にサウンド分割でキューポイントの設定を行った後にノーマライズを行って下さい。

①[エフェクトランチャー]の【ノーマライズ】をクリックしてください。

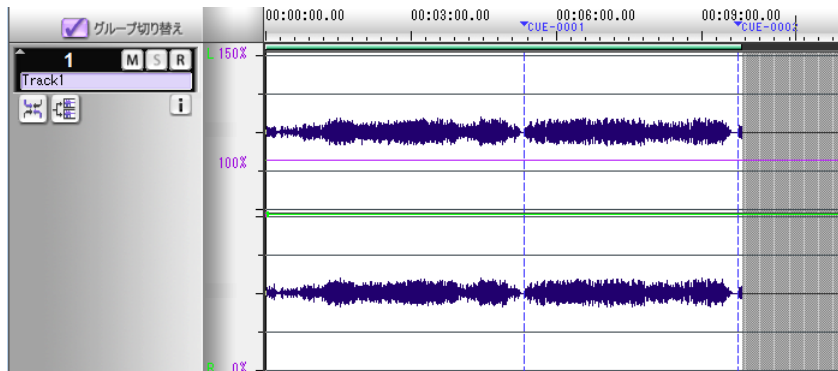


②「ノーマライズ」ウィンドウが表示されますのでそのまま[OK]ボタンをクリックしてください。

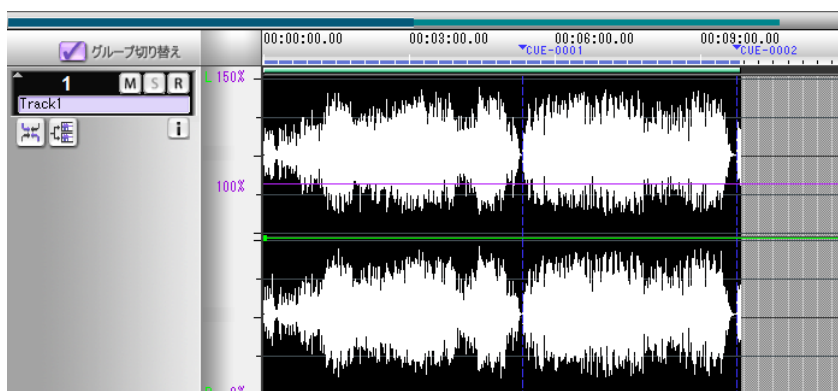


③処理が完了しますと、下図のように音量の調整が行われます。

ノーマライズ処理前

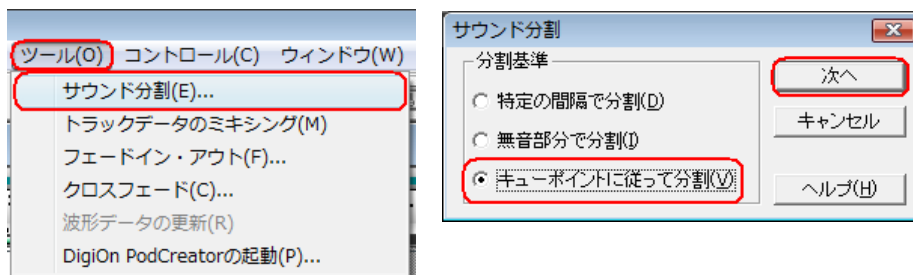


ノーマライズ処理後

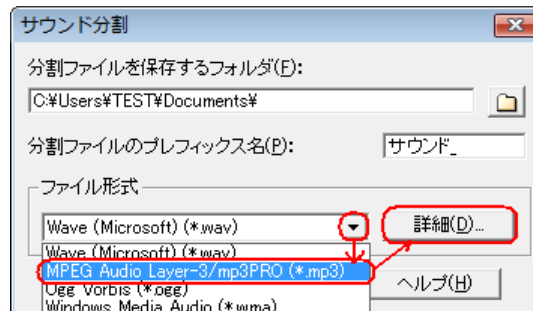


VIII. サウンドを MP3 形式で分割保存する キューポイントに従ってサウンドを MP3 ファイル形式で分割保存します

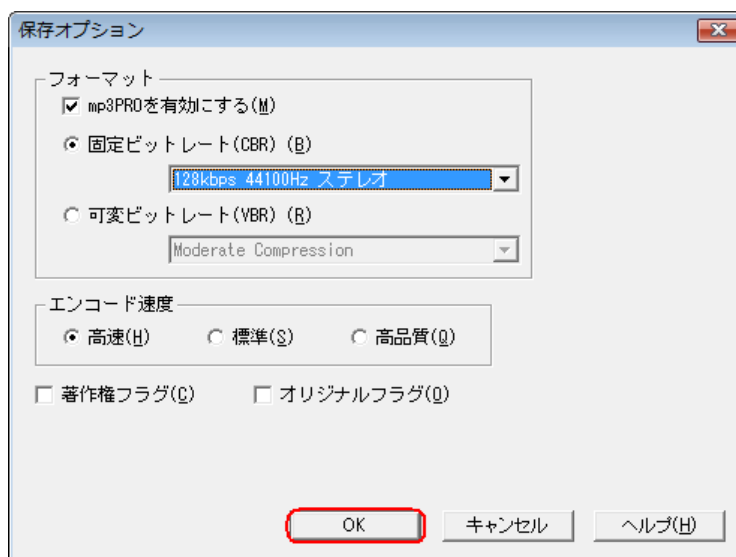
①[ツール]->[サウンド分割]を選択すると「サウンド分割」ウィンドウが開きます。
【キューポイントに従って分割】を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



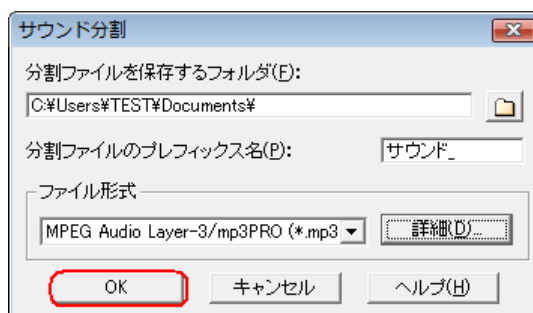
②ファイル形式を【MPEG Audio Layer-3/mp3PRO (*.mp3)】に変更します。
フォーマット/エンコード速度を変更する場合は「詳細」ボタンをクリックし「保存オプション」ウィンドウを表示させてください。



③「保存オプション」ウィンドウにてフォーマット/エンコード速度を変更できます。
設定が完了したら[OK]ボタンをクリックして「サウンド分割」ウィンドウに戻ってください。



④[OK]ボタンをクリックすると分割が開始されます。



⑤処理が完了しましたら、保存先のフォルダを確認してください。
分割されたファイルは右の図のようにプレフィックス名のあとに4桁の数字のファイルで順番に作成されます。



以上